



# 泗水小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」

泗水小学校  
学校だより No5  
文責 芹川博文  
5月19日(金)

↶ Creative  
思い描く

⇒ Active  
やってみる

⇒ Reflective  
味わう



## その2「やってみる」

今回は、泗水小グランドデザインの3つのサイクルの2つ目、「Active（やってみる）」について書かせていただきます。

「アノネ がんばらなくてもいいからさ 具体的に動くことだね」という相田みつをさんの詩があります。何事も最初が大変であり、大切です。宿題でも仕事でも、取りかかるまでが大変。私自身も、考えたり、心配したりしている間に機会を逃してしまった苦い経験は数知れずあります。とりあえず、小さなことから始める。最初の一步が出れば、自然と二歩目は出やすくなります。子どもたちにも、「やってよかった」「挑戦してよかった」という体験を沢山してほしいと願います。どんな小さなことでもいい。とにかく自分から0を1にする体験を味わってほしい。描いた自分の「なりたい姿」に向かって「やってみる」その経験は、目には見えないかもしれませんが、自律に向かっていく大きな力になると考えます。

先日、3年生の子数名が教えてくれました。「先生、私たち昨日、ゴミを拾いながら帰ったんですよ。」泗水小の「やってみる」を、大切にしていきたいと思えます。

## 深い！運動会スローガン

～ 「本当の楽しさ」の追求 ～

勝っても負けても 一人一人がかがやく運動会  
～ 本気 + 助け合い = 本当の楽しさ ～

何とも深い意味のスローガンです。本気で勝利を目指す中にも、助け合いや讃え合うことで、本当の楽しさは味わえるという意味かと解釈します。

右の写真は代表委員会の様子です。各クラスから集まったアイディアを、3年生以上の学級委員と児童会役員で話し合いました。真剣な質問や意見が交わされ決定したテーマ。短期間の練習ではありますが、本番も含めて大きく成長する運動会。ご期待ください。



## プロの技、あっという間に！

～ 泗水小 スクール・ガーデニング・クラブ ～

あっという間に中庭の花壇が「変身」していきました。その間の何とも温かな声掛けと笑顔。

泗水小を長年支えていただいているボランティア団体「泗水小スクールガーデニングクラブ」は、現在13名。この日は、7名の方に来ていただきサルビア、千日草、アゲラタムなどの苗を植えていただきました。

泗水小がコミュニティスクールとなった平成18年度に発足して以来続いている活動。17年もの間、泗水小を見守り、支えていただいている方々の思いを受け、気持ちを新たにしました。



## 雨模様の中でも多数の参加に感謝

～ 愛校作業 お世話になりました ～

約170名の方に参加いただきました。本当にありがとうございました。

当日はあいにくの雨模様で、PTA会長の林様も、開催するかどうか悩まれた末の実施の決断でした。

すると、10分も立たないうちに刈払機の音がします。外に出て挨拶すると、「今日は仕事なんで、早めにきました」とのこと。大きなエネルギーをいただきました。

その後、そくそくと保護者の方が集まれ、あっという間に運動会テントは並び、見違えるほど綺麗なグラウンドや裏庭になりました。

解散直後、雨は本降りとなりました。



## 花や野菜のお世話で育つ心

～ 朝のさわやかな風景から ～

2年生が、毎朝、玄関近くの花壇の水かけをし続けています。

泗水小は花や野菜など植物の多い学校です。（ウサギも8羽います）その分、お世話も多くなりますが、豊かな心や責任感も育っていると感じています。

